

大虐殺の日、忘れず

十一月九日に総評拠点大集会

五たひめり来たあ三川大爆

発の日を前にして、「三池大爆五周年九州拠点大集会」の開催計画がついに決定された。

おりから聞われている第四次合理解化反対闘争の炎を一段と燃え上がらせ、CO闘争、いのちを守る闘いの一層の強化を決定する日とするために全員で決意しよう。

実施要領

一、行事の呼称 「三池大爆五周年、九州拠点大集会」とするスローガン

(1) 労働災害、職業病をすべて「のちから追放しよう」。

(2) 政府と三井の責任を追及し

よう。

二、主催 総評・炭労・三池労組とする。

三、大集会を運営するため、実行委員会を設ける。

実行委員長 九州ブロック地方事務所地方部長前田義光
副委員長 九炭労働委員長代

行

四、開催日時 十一月九日午後一時より

五、場所 延命公園内大牟田市体育館

六、動員及び招請の規模
1、中央総評・炭労・社会党・社青同代表 2、九州各県代表 3、主要単産九州代表 4、福

岡、熊本、佐賀の三県各代表

大牟田・荒尾両地評率下の組合員 7、三池労組・三池主婦会

は全員動員

七、第四次合理解化現地対策委員会も側面より協力体制を確立する

八、黒いデモ(大会前夜の要領で大会場へ向けてデモを行なう)

(イ)デモコース 延命公園・築町

市役所前・駅前・警察前

(ロ)デモ参加者 遺族(遺影を持つて参加)、CO患者の一部、CO患者家族会、遺族を守る地域の代表、主催者側代表、各来賓、その他とする。



敬老会ひらく

年に一度の三池主婦会主催の

敬老会は今年も10月15日、船小屋観光ホテルで開かれた。三池労組のおじいちゃん、おばあちゃん約400人は朝からゆつくり温泉につかりシワをのばし、演芸をたのしんだ。

(写真は大広間を埋めた敬老会参加者)

公傷を認めさす

宮浦駅、ホスゲンガス中毒

十月十日午前五時五十分ごろ、宮浦駅選炭機下で石炭づみこみ中の本業則さん、味志道重さん(いずれも三池労組員)ら五名は、三井化学より流出した有毒ガスのため眼があけられないような(眼がとび出すような)痛みを感じたため宮浦駅の室内に退避した。

本さんは午前六時の終業までは大した痛みもないので係員に届けず帰宅した。その二、三時間後から急激な眼の痛みがする。本さんは宮浦駅の係員に連絡し、了解をうけ大領病院で精密検査をうけ、十五日から出勤した。

味志道重さんも本さんと同じ症状であったが、休業するまでもなかったが、痛みがつづいたので十三日大領病院で精密検査を受けた。ところが会社は、大領病院で精密検査を行なったが異常なしであったとして、公傷を認めなかった。

ガスが流れ、それを吸ったことは認めながら、しかも顔や眼が痛むことを全員が訴えているのに、公傷を認めなかった。

このような経過の中で組合は港務所や労基署と交渉をつづけていたが、十月十日ごろついに労基署は公傷認定にふみ切ったものである。この問題の交渉の中で、三井化

間の予定。
十、大会終了後合唱詩劇「みいけの闘い」を上演する。
十一、詩劇公演終了後、午後四時三十分より全員三川鉾裏門まで抗議デモを行ない、阻止行動の現地での決意を固める。

情勢になっています。支援行動をただちに起こしましょう。
選挙用はがき 選挙運動用の有料はがきは無制限。革新統一候補へ投票をよびかけるはがきや手紙は有効です。有権者名簿は各指導部にあります。沖繩県あての郵便物ははがき七円、封書十五円。日数七日より十日かかります。航空便は二、三日で届きますが、一〇グラムまで三十円です。

新聞・テレビ 那覇市長選を除き新聞・雑誌で選挙の報道・評論をすることは自由。全日労は選挙支援の特等号二部を現地に発送。大阪でも新聞を配布、オルグとともに派遣する準備をすすめています。ビラ、リーフレット、パンフレット配布も自由です。直接、沖繩県に渡航して配布してもかまいません。送りは各県評や沖繩連、沖美事務所に相談してください。

カンパ 米軍は三十一万ドル、本土自衛隊も数億のカネを用意しているといわれます。選挙の意義を喧嘩、地域に訴え、カンパを集める活動はだれでもできる運動です。集めた分を各県評、地域の沖美委、沖繩連に届けましょう。【KNA】

沖縄選挙支援

はがき・カンパを

十一月十日に迫った沖縄県の主席・立法院選挙は手前を許さない

詩歌

三川 小柳重義

とりすました

対話の中から

友情がふれる

つづいどんな

指示のなから

抵抗の白い眼を見せる

きこぬ飾り物のよう

言葉から

言葉が木洩れ日の

この問題の交渉の中で、三井化

「三池のCO患者を守る会」

に入会された方々

(十月十六日現在)

三池労組はいま、全国の労働者、文化人、学者、その他あらゆる人々に対して、「CO患者を守る会」に加盟していただくよう、強く呼びかけていますが、日に日に集団的個人的加盟申し込みがきております。ここに感謝をこめて、ご紹介することに致します。

三池 孝子	東京都練馬区	宮本トシ子	熊本県八代市	富崎 俊夫	大阪府枚方市
田原 寿恵	〃	当摩 実	豊中市内西町	岡本 和民	山口県長門市
金沢 明	〃	郷野満洲雄	東京都世田谷区	阿真根 登	東京都千代田区
加茂 詮	〃	沢地 忠雄	横浜市保土谷区	阿真根 節代	〃
寺田 保正	〃	戸木田嘉久	大阪府枚方市	阿真根 直	福岡県遠賀郡
井上 定彦	〃	関 泰太郎	佐賀県多久市	森下 昭司	名古屋市
梶野カツエ	〃	藤本 正	東京都新宿区	城丸 章夫	千葉市
浦口 俊郎	〃	近本 圭子	筑紫郡太宰府市	青池 清	青森県三沢市
遠藤 直策	東山山市秋津町	篠崎 五六	群馬県佐波郡	中島 良夫	神戸市
栗原 義次	保谷市下保谷	公野 公	東京都豊島区	鍋島 浩一	〃
柿田 淳子	京都市左京区	篠田 允美	東京都目黒区	萩原 長雄	秋田市
上田 則雄	名古屋市守山区	箱田 公	東京都目黒区	尾崎 栄	高知市
松岡 文男	春日井市下条町	浴中 利夫	山口県瀬戸郡	加藤 勘十	東京都
河野 秀夫	名古屋市市中村区	小沢 保清	静岡県	安田 卓全	横浜市
木下 広	愛知県西加茂郡	小沢 清	川崎市麻生区	吉崎 英智	長崎市
西 永	名古屋市北区	天達 忠雄	東京都武蔵野市	森 良彦	延岡市
中村 幸人	〃	寿岳 文章	京都府乙訓郡	三井 武友	東京都世田谷区
山口 正喜	愛知県愛知郡	石黒 修	東京都世田谷区	志賀 義雄	東京都武蔵野市
小西 武一	三重県四日市市	野村 平爾	〃	古沢富美子	佐保市
角銅 立男	田川市栄町	山根 房光	大阪府高槻市	今里 正勝	福岡県筑紫郡
沼田稻次郎	東京都杉並区	田中 裕男	大牟田市曙町	小野 明	参議院会館内
橋本 敦	〃	白石 恭三	東京都足立区	坂本 博二	長崎市
浅野 幸夫	労働新聞社関西支社	酒井 郁造	静岡県三島市	村田 陽一	東京都杉並区
古賀 正雄	長崎市若草町	川村 継義	熊本県八代市	寺内 良雄	宇都宮市
大竹 秀達	東京都新宿区	船盛 順二	鹿児島県国分市	細谷 治嘉	衆議院会館内
村山 知義	〃	亀田 得治	参議院会館内	森 清茂	高知県中村市
大城 義雄	大牟田市日井新町	栗田 賢三	東京都文京区	松田 解子	東京都中野区
篠田 正浩	東京都目黒区	野田弥三郎	東京都杉並区	伊藤 光明	〃
小柳 勉	長崎市上小島町	土井 満	広島県福山市	伊藤 芳山	名古屋市
城台 巖	大牟田市三川町	土井五津子	〃	関野 安夫	横濱市
前田 正実	久留米市大善寺	伊東 光次	鳥栖市瀬木町	大久保節子	千葉県市川市
石田 隆	富山県高岡市	石水 伴清	愛媛県今治市	堀米 庸三	神奈川県鎌倉市
宗像 誠也	東京都豊島区	土肥 富弥	東京都千代田区	近藤 祥逸	岡山県倉敷市
除村吉太郎	東京都小金井市	加藤 秀俊	京都市左京区	貴司 山治	東京都武蔵野市
神山 茂夫	東京都北区	平野 長靖	群馬県桐生郡	土居 正実	高知市
内海 義夫	大阪府羽曳野市	佐野 芳雄	参議院会館内	好間炭鉱労働組合	福岡県
		新妻 幸子	江別市	私立鶴川図書館	東京都
				全林野大分分會青島部	大分市
				総評全国一般労組東京地方本部	
				静岡中小企業労務協会	
				法政大学大原社会問題研究所	